

国立大学法人福井大学 御中

公益財団法人原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。

課題名	原子力立地環境を生かした原子力人材育成ネットワークの強化
実施機関	福井大学
実施期間	平成30年度～令和2年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

- ※) S : 極めて優れた成果があげられた
A : 計画以上の優れた成果があげられた
B : ほぼ計画通りの成果があげられた
C : 計画通りの成果があげられなかった

【評価委員会所見】

<推奨意見、評価理由>

- 福井大学と近隣の高専との連携による、講義と国内実習、サマースクールを主体としたオーソドックスな取り組みであるが、原子力への理解が図られるとともに、原子力産業へ人材が供給され、十分な達成度が得られていると評価できる。
- 特に、本事業によって、高専カリキュラムの中に、原子力・放射線に係る授業の新規導入と担当教員の育成がなされたことは、若い学生に原子力に興味を持ってもらう機会を増やすことにつながり、特記すべき成果と評価する。
- 習熟度別のカリキュラムにおいて、中核人材を育成するカリキュラムの参加人数が比較的少なかったことは残念である。

<今後への参考意見>

- 本事業は、イニシアティブ事業で実施中の人材育成コンソーシアム(ANEC)内の事業に引き継がれており、学部生向けカリキュラムの一般化や高専機構実施分の高専全体への展開(実験テキストの提供等)が期待される。
- 講義形式の座学の参加者は非常に多かったが、体験的イベントや実習等への参加学生が相対的に少なかったことについては工夫の余地があると考えられる。

以上